

平成29年度・第3回共同研究会のお知らせ

立秋は過ぎましたが、相変わらず暑い毎日が続いております。ご出張等、お忙しい毎日をお過ごしのことと拝察します。本年度第3回共同研究会開催のご案内を申し上げます。

今回は、呉座勇一氏のプロジェクトで、ドイツのボン大学からダニエル・シュライ氏をお招きし、ご発表いただくとともに、ドイツの日本研究についても、テーブルトーク風に語っていただこうかと思っています。

また2日目は、金容儀氏と徳永誓子氏のご発表で、柳田國男と五来重を取り上げ、民俗学の問題を小特集いたします。それぞれ活発な議論が展開されることを祈念します。

基幹研究プロジェクトのことや、今後の研究会のことについても、議論し、情報交換いたしたく存じますので、万障繰り合わせの上、よろしくご参集ください。

記

日時：平成29年9月23日（土）、24日（日）

場所：日文研・第5共同研究室

●9月23日（土）

13：30～14：15

事務手続き・諸連絡・本研究プロジェクトについて

14：15～15：45

・研究発表1、及び質疑：Daniel Schley（ダニエル・シュライ、ボン大学准教授）「日本初期中世の歴史意識と王権 - 将門記から神皇正統記まで」

ディスカサント：呉座勇一（日文研）

〈コーヒーブレイク〉

16：00～17：00

テーブルトーク：Daniel Schley 「ドイツの日本研究」（ボン大学での取り組みなどを中心に）

17：00～18：00

総合討議及び本プロジェクトの今後の推進について

●9月24日（日）

9：30～11：00

・研究発表2、及び質疑：金容儀（全南大学校、日文研外国人研究員）

「柳田國男『遠野物語』の文化コンテンツとしての拡散と受容」

〈コーヒーブレイク〉

11:15～12:45

研究発表3、及び質疑：徳永誓子（岡山大学）

「一般的修験道観と五来重（仮）」

※発表に際してハンドアウトのコピーや配付が必要な場合は、事前に研究協力課研究支援係 [kyoudou@nichibun.ac.jp](mailto:kyoudou@nichibun.ac.jp) にご連絡ください。

※共同研究員の方は、当日印鑑をご持参ください（旅費の支給等書類作成のため）。

※土曜日・日曜日は、日文研の正門が閉まっています。北門からお入りください。

※宿泊は、日文研ハウスが利用できます。ご希望のかたは、お早めに、研究協力課研究支援係（075-335-2044）までお問い合わせください。

※日曜日はレストラン「赤おに」はお休みです。